



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	23,557.99	31.81	0.14	0.42	19.20	19,762.60
NASDAQ	6,889.16	21.80	0.32	1.41	27.98	5,383.12
日経225	22,550.85	27.70	0.12	0.89	17.98	19,114.37
上海総合	3,353.82	1.90	0.06	-0.86	8.06	3,103.64
滬深300 (GSI300)	4,104.20	1.81	0.04	-0.40	23.99	3,310.08
ハンセン	29,866.32	158.38	0.53	2.29	35.75	22,000.56
H株	11,908.19	171.13	1.46	2.58	26.75	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.3%高と4週続伸、本土市場は0.9%安と続落

香港市場ではハンセン指数が週間で2.3%高と4週続伸した。世界的な株高が続く中、週明けから堅調な値動きが続き、ハンセン指数は22日に30000ポイント台を回復。23日は本土市場の急落を嫌気して1%近く下落し、30000ポイントを割り込んだが、24日には再び買い戻しが入った。本土市場では上海総合指数が週間で0.9%安と続落した。週前半は前週の下落を受けて買い戻しが優勢だったが、当局による引き締め懸念を背景に上海総合指数は23日に急落。節目の3400ポイントを割り込む展開となった。

今週の展望:香港市場、ハンセン指数30000ポイントを試す展開か

今週の香港市場はハンセン指数が30000ポイントの回復を試す展開か。前週は大台に乗せた後にいったん反落したものの、市場ではおおむね「短期的な調整」と受け止められた。前週末のNY市場でナスダック総合株価指数とS&P500種株価指数がともに史上最高値を更新して終えるなど株高を背景に相場の先高観は根強く、投資家心理を支えそうだ。一方、「理財商品」に対する規制強化は重し。本土市場は中国の景気減速懸念を背景にもみ合いか。週後半に官民の製造業PMIの発表を控え、模様眺めムードが広がるとみられる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国平安保険 (02318)	83.75	6.21
2 香港証券取引所 (00388)	247.00	5.65
3 万洲国際 (00288)	8.10	5.19
4 銀河娛樂 (00027)	58.05	4.22
5 サズ・チャイナ (01928)	37.60	3.72
6 AIAグループ (01299)	68.35	3.72
7 招商局港口 (00144)	21.20	3.41
8 新鴻基地産 (00016)	130.00	3.17
9 シパック (00386)	5.65	3.10
10 テンセント (00700)	415.80	3.07

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	169.80	-2.02
2 長江インフラ (01038)	67.00	-1.76
3 恒安国際集団 (01044)	75.00	-1.12
4 ワーフ (00004)	25.45	-0.20
5		
6		
7		
8		
9		
10		

▼今週の主なイベント

- 11月29日(水) 【米国】GDP改定値(7-9月)
- 11月30日(木) 【中国】製造業PMI(11月)
- 12月1日(金) 【中国】財新製造業PMI(11月)

▼今週の期待材料

- ◆香港市場は引き続き売買代金が高水準で推移、24日まで15営業日連続で1000億HKドル超え
- ◆中国セメント大手2社の合併を中国当局が承認、国有企業改革進展への期待が高まる可能性も
- ◆中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き1500億元の資金を市場に供給、2週連続の供給超過

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数が約10年ぶり高値、30000ポイントを超える水準では利益確定売りの圧力が強まる算
- ◆中国の金融引き締め警戒感、中国金融当局が金融リスク軽減に向けて規制や監督を強化
- ◆中国の11月の製造業PMIが30日に発表、市場予想下回る低調な結果なら景気の先行き懸念強まる可能性も

【今週の方法銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 河北省雄安新区と戦略提携、フィンテックや医療などの分野で
- ☆ 中国建材 (03323) : 中国中材の吸収合併で国有資産監督管理委員会の認可を取得
- ☆ 越秀交通基建 (01052) : 10月の通行料収入が前年同月比15%増、1-10月は8%増
- ☆ 中国南方航空 (01055) : アメリカン航空との協力を強化、米国路線を拡大へ
- ☆ 六福集団 (00590) 29日に17年9月中間決算を発表、市場予想は純利益11%増
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 車載通信サービスなどでチャイナ・モバイルの親会社と提携
- ◇ 華泰証券 (06886) : A株の第三者割当増資計画、資金調達規模を縮小へ
- ◇ アンガン・スチール (00347) : 中国石油天然気集団が株式9.0%取得、大株主に
- ◇ 中国建設銀行 (00939) : 中国本土で優先株を発行する計画で当局の認可を獲得
- ★ 恒安国際集団 (01044) : 政府が紙おむつなど日用品の輸入関税引き下げ、競争激化も

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。